

開催概要

日 時	第1回 8月18日(水) 14:00-17:30	オンライン	見逃し配信あり	
	第2回 8月25日(水) 14:00-17:30	オンライン・対面併用		終了後懇親会@東京
	第3回 9月1日(水) 14:00-17:30	オンライン		終了後京大生交流会
	第4回 9月9日(木) 14:00-17:00	オンライン		
	第5回 9月22日(水) 14:00-17:00	オンライン		終了後京大生交流会
	第6回 9月29日(水) 14:00-17:30	オンライン・対面併用		対面講義@東京
	第7回 10月7日(木) 14:00-17:30	オンライン		
	第8回 10月21日(木) 14:00-17:30	オンライン・対面併用		終了後修了式・懇親会@東京
場 所	東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階京都アカデミアフォーラム in 丸の内 オンライン(ZOOM) 対面併用ハイブリッド型での実施			
対 象	事業会社(財務・経理・戦略・企画部門等)の社員や役員、社外役員、金融機関の社員などで、ファイナンスと企業価値評価について、短期間で正しい知識を修得したい方。あるいは、知識を体系的に整理し、実践力を強化したい方。ESGやCSRに関する情報開示や統合報告書の作成、サステナビリティ委員会などの関連部門の方々。本講座のテーマや内容に関心のあるの方々。			
準 備 物	演習用PC(エクセルが使えるもの)、Zoom受講が可能なウェブ環境			
受 講 料	30万円(税込)	定 員	30名	
申 込	<a href="https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=27">https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=27</a>			
申 込 締 切	<b>2021年8月4日(水)</b>			
主 催	京大オリジナル株式会社	共 催	京都大学経営管理大学院(京大MBA)	
問 合 せ 先	京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部 TEL:075-753-7778 E-mail:kensyu@kyodai-original.co.jp			

見逃し配信あり

京大MBA 2021 短期集中講座

# 企業価値評価とファイナンス

## ESGとサステナビリティの視点



本講座は、京都大学MBA(京都大学経営管理大学院)が開講しているファイナンス関連の講座(基礎講座、専門講座、実務講座)の中から、短期集中として有益な部分を集約して体系化し、実務科学的なパートを組合せた京都大学のオリジナル講座です。

今回が4回目となる本講座は、延べ120名以上の方にご受講いただいております。グローバルスタンダードなファイナンスと企業価値評価(バリュエーション)の理論と考え方を解説し、欧米や日本のMBAで用いるケーススタディやエクセルによる財務モデル(モデリング)演習を通じて、実践的なバリュエーションと財務的意思決定のトレーニングを行います。

経営目標としての企業価値の向上、経営戦略手段や事業ポートフォリオの組替え手段としてのM&Aの普及、コーポレートガバナンス改革による資本利益率と資本コストを重視した経営、投資家とのエンゲージメントなど、現代と将来の企業経営においては、ファイナンスと企業価値評価に関する知識が必須になっています。

本講座で  
得られること

- ファイナンスと企業価値評価について正しい知識を修得し、実践力を身につける
- ある程度の知識をおもちの方は、知識の体系的な整理と実践力の強化
- 京都大学での研究や教育に関与しながら、実務フロンティアで活躍する講師陣によるセッションを通じて、科学的で実践に役立つヒントを得る
- 同じ目的をもつ方々との交流
- ESGやCSR、統合報告書に関する業務を行う方々、サステナビリティ関係の業務を行う方々に有益な情報

キャンセルについて

お客様のご都合により、お申し込み後にキャンセルされる場合は、下記キャンセル料を申し受けます。

(1)開講日の7日前から前々日 受講料の**30%** (2)開講日の前日から当日 受講料の**100%**

最低履行人数に満たない場合、開催を中止する場合がございます。その場合、上記に関わらず全額返金いたします。

## 講座スケジュールと内容

今回のコーポレートガバナンス・コードの改訂では、ESGやサステナビリティ経営の強化がポイントです。前回の改訂は、資本コスト経営がポイントでした。また、コーポレートガバナンス・コードが導入された時期(2015年頃)は、資本利益率の重要性が改めて注目されました。「資本利益率」「資本コスト」「サステナビリティ」は、企業価値評価と価値創造のキーワードです。ファイナンス論には、昔からサステナブル成長モデル(定率成長モデル)があり、バリュエーションの実務においても用いられています。今年度は、伝統的な財務指標に加え、非伝統的な新しい指標であるESGファクターやESGパフォーマンスと企業価値評価や企業経営の関係について、最新の研究や実務の動向を踏まえた解説を行います。

<p><b>オンライン</b></p>	<p><b>第1回</b> 8月18日(水) 14:00-17:30</p>
---------------------	--

## ファイナンスとバリュエーションの基礎

講師：砂川伸幸

- 本コース紹介(事務局)
- ファイナンスのテーマ(企業と投資家, 企業とステークホルダー)
- DCF法(割引現在価値法)とバリュードライバー
- サステナブル成長モデルと価値創造の原則 ・エクセル演習(感度分析)

<p><b>講演</b></p>	<p>CFOの役割</p>
<p><b>講師</b></p>	<p>吉松 加雄</p>

<p><b>オンライン</b></p>	<p><b>第3回</b> 9月1日(水) 14:00-17:30 <span style="float:right">終了後京大生交流会</span></p>
---------------------	--

## 資本コスト②, 投資評価

講師：砂川伸幸

- 実践的なWACCの算出 ・全社と事業の資本コスト
- 資本コストの論点 ・ESGと資本コスト
- 投資評価の基本:NPVとIRR ・エクセル演習

<p><b>講演</b></p>	<p>ESGと投資家, ESGと資本コスト</p>	<p><b>講師</b></p>	<p>加藤 康之</p>
------------------	---------------------------	------------------	--------------

<p><b>オンライン</b></p>	<p><b>第5回</b> 9月22日(水) 14:00-17:00 <span style="float:right">終了後京大生交流会</span></p>
---------------------	---

## 企業価値評価①:DCF法とマルチプル法

講師：砂川伸幸

- 企業価値評価のフレームワーク
- DCF法による企業価値評価(WACC法)
- サステナブル成長率と継続価値, 予測期間の長さ
- マルチプルとDCFファクター, マルチプルとESGファクター
- エクセル演習

<p><b>講演</b></p>	<p>未定</p>	<p><b>講師</b></p>	<p>未定</p>
------------------	-----------	------------------	-----------

<p><b>オンライン</b></p>	<p><b>第7回</b> 10月7日(木) 14:00-17:30</p>
---------------------	--

## 企業価値評価③:クロスボーダー,ベンチャー,ESG

講師：砂川伸幸

- クロスボーダーの投資評価と企業価値評価
- ベンチャー企業のバリュエーションとVCメソッド

<p><b>講演</b></p>	<p>ケーススタディ</p>
<p><b>講師</b></p>	<p>朝岡 大輔(明治大学)</p>

**修了式(修了証書授与)** **対面でご参加の方は、直接修了証書を授与いたします。オンラインでご参加の方は、後日郵送いたします。**

※実施内容に変更はありませんが、日程ごとのコンテンツの順序は変更になる可能性がございます。

※対面形式での実施が困難な場合はすべてオンラインでの実施となる可能性もございます。実施形式(オンラインへの切り替え)などはHPをご覧ください。

## テキストと参考文献 最初の講義時に下記を配布します

- 砂川伸幸 『コーポレートファイナンス入門(第2版)』日経文庫
  - 砂川伸幸・笠原真人『はじめての企業価値評価』日経文庫
  - ㈱ブルータス・コンサルティング『企業価値評価の実務Q&A(第4版)』中央経済社
- ※ 講義資料とエクセル演習で用いるシートなどは適時配布します。

## 講師紹介

## 砂川 伸幸 (イサガワ ノブユキ)

京都大学経営管理大学院・経済学部教授

日本経営財務研究会会長、日本ファイナンス学会理事、日本証券アナリスト協会検定試験委員、船井総研ホールディングス社外取締役。証券会社勤務、神戸大学教授などを経て、2016年より京都大学経営管理大学院・経済学部教授。専門はファイナンスと企業経営。著書、学術論文多数。日本ファイナンス学会理事、日本証券アナリスト協会検定試験委員、上場企業の社外取締役、MBO等の第三者委員会委員などを務める。博士(経営学)。

## 吉松 加雄 (ヨシマツ マスオ)

株式会社CFOサポート代表取締役社長兼CEO、東京都立大学大学院 経営学研究科 特任教授

三菱電機の英国、シンガポール、アメリカの現地法人で経理財務の責任者を歴任。その後、サン・マイクロシステムズ日本法人・エスエス製薬等のCFO、日本電産株式会社 取締役専務執行役員最高財務責任者等を経て現職。米国金融専門誌 Institutional Investor 誌のCFOランキングで第1回から4回連続電子部品セクターのベストCFO選出。

## 古川 善之 (フルカワ ヨシユキ)

国内大手機関投資家 勤務

財務審査部、財務部、資本市場営業室、総合法人部等で、審査業務、ストラクチャードファイナンス組成業務、リレーションシップマネジメント業務を担当。国際公認投資アナリスト、日本証券アナリスト協会認定アナリスト、技術士(総合技術監理部門、経営工学部門<金融工学>)、金融戦略MBA(一橋大学)、京都大学博士(経営科学)

## 加藤 康之 (カトウ ヤスユキ)

京都大学経営管理大学院客員教授、京都先端科学大学教授

専門分野は、金融工学、ファイナンス理論、投資理論。(株)野村総合研究所、野村證券(株)金融工学研究センター長、執行役を経て、2010年から京都大学教授。2019年から現職。他にGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)経営委員、(株)お金のデザイン研究所所長、首都大学東京特任教授など。

## 朝岡 大輔 (アサオカ ダイスケ)

京都大学経営管理大学院客員准教授、明治大学商学部准教授

政府系金融機関にてM&A実行、海外投資および経営計画策定、国土交通省にて空港民営化に従事。日本証券アナリスト協会検定試験委員、国土交通省の委員も務める。MBA (University of California at Berkeley, top 5%)、博士(学術、東京大学)。

## 野口 真人 (ノグチ マヒト)

ブルータス・コンサルティング代表取締役社長、京都大学経営管理大学院特命教授

京都大学 経済学部卒業。みずほ銀行(旧富士銀行)、JP.モルガン・チェース銀行、ゴールドマン・サックス証券を経て2004年に株式会社ブルータス・コンサルティングを設立。主な著書に「ストック・オプション会計と評価の実務」(中央経済社)。「あれかこれか ファイナンス理論入門」(ダイヤモンド社)「パンダをいくらで買いますか?」(日経BP社)など。

## 山田 昌史 (ヤマダ マサシ)

ブルータス・コンサルティング常務取締役、京都大学経営管理大学院客員教授

組織再編・種類株式等の有価証券発行を中心に様々なフェーズの資本政策関連のアドバイザー業務に従事。最近のプロジェクトとしては、年間多数の上場会社の公開買付け、株式交換、スクイーズアウトによる完全子会社化、共同株式移転などの組織再編アドバイザー、特別委員会アドバイザー、第三者割当てに係る資金調達アドバイザー、非上場会社の資本構成の再構成コンサルティング、時価発行新株予約権信託などのインセンティブ・プラン導入コンサルティングなどがある。

## 過去参加者の声(抜粋)

### プログラム全体に対する感想

- 理論的な丁寧な解説と、それを踏まえた実務的な論点の解説が大変有意義でした。
- VCの最前線で活躍されている日本トップ級の方の生の話を聞くことができ良かった。
- バリュエーション、企業価値評価の大枠を理解できました。特に資本コスト、CAPMの項目が参考になりました。
- ファイナンスに関して体系的かつ演習により実践的でもあり、参考になった。
- 単なる計算方法だけでなく、なぜそう考えるのかという点をよく理解できる講義でありがたかったです。
- ファイナンスの講義を受けるのははじめてでしたが、実践的な話も聞けたので非常に満足しております。
- 実際にエクセルを使った実践的なケーススタディも使っていただいたのでよりよく理解することができました。

### 今後の業務に生かせる気づき

- IR部門にいたので投資家への説明ストーリーの構築に活用していきたい。
- 事業評価やM&A業務などにこれから取り組んでいきたいと思います。
- 社内資料を見た時にモデルが理解できるようになった。
- コーポレートファイナンスがあまり浸透していないため、少しずつ浸透させられるように進めていきます。
- 当社は企業価値評価が浸透していないが、ROICについては1年前よりスタート。分野を広げるよい機会になった。
- 投資家と対峙する時の、論理的コミュニケーションをイメージできました。
- 投資家視点の基本が投資対象にかかわらず普遍的であり、また「人間力」の重要性も共通するなどの発見もありました。投資家対応業務に活かしていきたいと考えております。
- 度々、企業名を挙げて、先生が受講生に確認されましたが、「ああ、あの企業は進んでるんだなあ」とその差を痛感しました。そういう企業から来た方の発言や考え方は参考になりました。講義、本、ケース、資料などを通じて、「ファイナンスに基づいて、論理的な判断を下す」という役割の重要性を知り、広大な世界の入り口に立ったと理解しています。

## 過去参加企業(一例)

AGC株式会社 / 関西電力株式会社 / 株式会社コメダ / 堺化学工業株式会社 / 塩野義製薬株式会社 / 東芝機械株式会社 / 日東電工株式会社 / 日本たばこ産業株式会社 / 野村不動産ホールディングス株式会社 / パナソニック株式会社 / 株式会社 日立製作所 / 株式会社フェリシモ / フジッコ株式会社 / 古野電気株式会社 / 株式会社丸井グループ / 三菱ケミカル株式会社 / 三菱UFJリース株式会社 / 株式会社メタルワン / 大和工業株式会社 / 株式会社ユーザベース